

令和3年5月26日

将来のインバウンド需要回復を見据えた反転攻勢を後押しします！  
～「トラベルテック及び地域資源利活用セミナー」の開催～

近畿経済産業局は、6月25日に近畿運輸局及び一般財団法人関西観光本部等と連携して、「トラベルテック<sup>1</sup>及び地域資源<sup>2</sup>利活用セミナー」を開催します。

「デジタル技術」「地域資源（地域ブランド、産業施設等）」をテーマに、全国の先進的な取組事例や導入ニーズの高いトラベルテック製品を紹介することで、DMO（観光地域づくり法人）及び観光関連事業者の、コロナ収束後の反転攻勢への取組を後押しします。

## 1. 目的

本セミナーは、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う入国制限で、2020年4月以降、訪日観光客数がほぼゼロの状態が続くことで疲弊する観光業界において、コロナ収束後を見据え、トラベルテック及び地域資源の利活用促進を図り、地域経済の活性化に資することを目的に実施します。DMO（観光地域づくり法人）及び観光関連事業者におけるデジタルトランスフォーメーション等の推進とともに、国内観光客はもとより将来のインバウンド需要の回復につなげることを目指します。

## 2. セミナープログラム

別紙チラシのとおり

## 3. 今後の展開

近畿経済産業局は、近畿運輸局、一般財団法人関西観光本部及び関西・共創の森と連携して、引き続き DMO 及び観光関連事業者等に向けた「デジタル人材育成」、「デジタル活用マッチング」、「地域資源活用推進」を進めていきます。

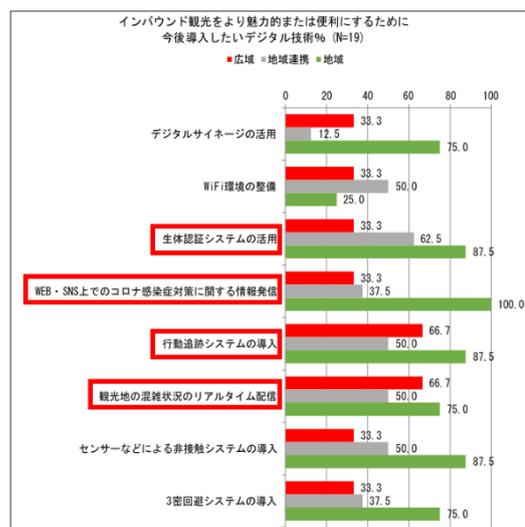
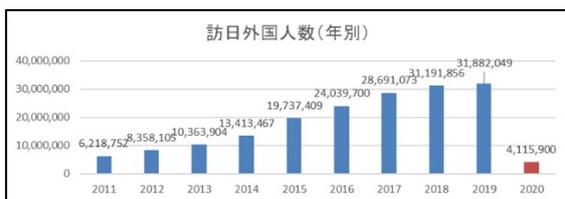
<sup>1</sup> トラベルテックとは、世界の観光や旅の分野において、最新の IT テクノロジーを活用することで、外国人観光客など旅行者の手間をなくし、シームレスな対応を推進する事業や取組を言う。（例：安心・安全システム、顔認証決済、デジタル Web マーケティング、三密回避、VR など）

<sup>2</sup> ここで言う「地域資源」とは、地域ブランド産品、産業施設、オープンファクトリー、スポーツを言う。

#### 4. 背景

関西におけるインバウンド旅行消費額は、コロナ前の2019年には約1.2兆円、全国比で見ると約25%を占めており、関西は他地域に比してインバウンドに依存する率が高い傾向にあります。

このような中、本年2月に観光まちづくりの中心的役割を担うDMOに対して、反転攻勢に向けた意識調査を行ったところ、今後、トラベルテック及び地域資源の利活用が不可欠になるとの認識があるものの、関連する情報・人材・資金等が不足していることが判明し、これらの課題解決に向けた取組が求められています。



#### 5. 取材要領

完全オンライン開催となりますので、以下のホームページから必要事項を入力の上、申込みをお願いいたします。全てのセミナープログラム取材可能です。

[https://www.kansai.meti.go.jp/3-1toukou/event/20210625/20210625\\_seminar.html](https://www.kansai.meti.go.jp/3-1toukou/event/20210625/20210625_seminar.html)

(本発表資料のお問い合わせ先)

近畿経済産業局 通商部 投資交流促進課長 濱崎

担当者: 河野、池上

電話: 06-6966-6033

FAX : 06-6966-6087

